



日本小児科学会版小児救急蘇生コース(開発中)が 目指すコースコンセプト

種市尋宙^{1, 2} 西山和孝² 井手健太郎² 新田雅彦² 太田邦雄²
清水直樹² 山畑佳篤² 梅原実² 市川光太郎² 玉井浩² 寺井勝²

1. 富山大学小児科

2. 日本小児科学会小児救急委員会 小児蘇生担当委員





日本小児科学会 COI 開示

筆頭発表者名： 種市 尋宙

日本小児科学会の定める利益相反に関する
開示事項はありません

本コースの正式名称

「日本小児診療初期対応コース」
Japan Pediatric Life Support: **JPLS**

【背景】

平成25年度に日本小児科学会小児蘇生教育WGによって行われた「小児救急蘇生教育教程の必要性にかかるアンケート調査結果」によると・・・

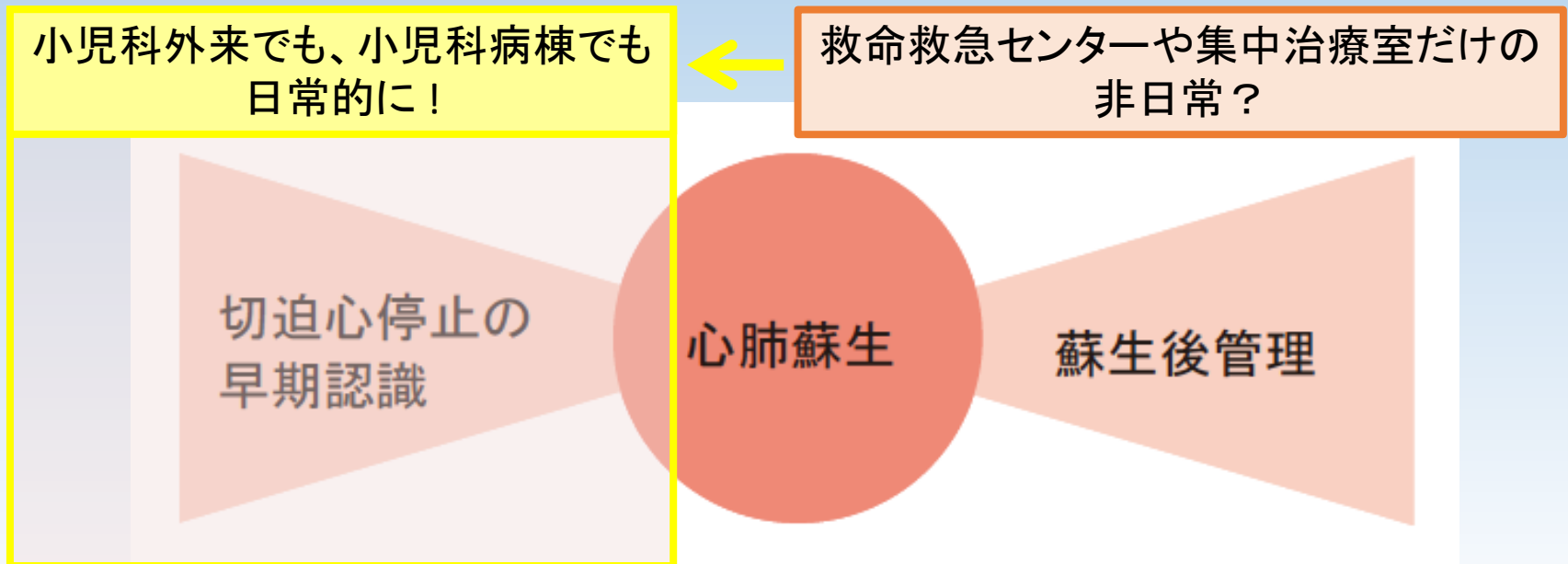
- 小児救急蘇生教育には現場だけでは不十分であり、何らかの教程が必要であると、指導層の9割以上が認識していた
- 期間的には1日で完了するコース設計を望む声が6割以上であった
- 日本小児科学会が小児蘇生コースを企画した場合には、指導層の8割が受講を推奨し、修練層の8割が受講を希望すると回答していた

清水直樹ら 第117回日本小児科学会学術集会

わが国の蘇生ガイドラインに即し、より効果的な学習効果を持つ教育コースの創出が学会員より求められていることが判明した

【目的】

- 小児医療にかかわる医療従事者の急性期対応の底上げ
- 日常的な外来・病棟における危険性の認知と対応
- いわゆる心肺蘇生（一次・二次救命処置）の技術だけでなく、心停止リスクがある重篤性の早期認識と早期介入



【コース概要】

対象：小児科専門医取得を目指す知識と技術を持った医師
⇒ 最終的には小児医療関係者の全てを対象とする

方法：1日完結コース(事前学習、事後学習の充実)
⇒ 当日はスキルとシナリオシミュレーションが主体

設定：一般診療所、休日夜間診療所、病院外来診察室
⇒ 医師1名と呼ばば2人の看護師が来る状況

教育内容：重篤小児対応をはじめ、アドボカシーを含めた
テーマ学習の強化(搬送、事故予防、虐待など)

防ぎうる心停止からこどもたちを守るためには

具合の悪いこどもとの遭遇において・・・

如何に迅速に重篤であると認識するのか
(第一印象、ABCDEアプローチ)

如何に全身状態、バイタルサインを安定化させるのか
(初期治療)

如何に地域中核病院へ安全な搬送を行うのか
(地域医療体制の確立)

2015-2016 α・β版

コース前日まで 08:30-09:00	事前学習、プレテスト 受講受付・プレテスト回収
09:00-09:15	コースコンセプト説明、自己紹介
09:15-09:40	小児評価トレーニング(25分)
09:45-11:45	スキルトレーニング(1station: 40分×3) 呼吸の異常とサポートスキル 循環の異常とサポートスキル 心停止の判断と蘇生スキル
11:45-12:25	昼食(40分)
12:25-13:55	シナリオ第1クール(1クール: 30分×3) 8ヶ月 発熱・咳嗽 1歳 嘔吐、下痢 5歳 けいれん
14:00-16:00	シナリオ第2クール(1クール: 40分×3) 6歳 嘔吐・倦怠感 1歳 発熱、ぐったり 3歳 けいれん
16:05-16:30	質疑応答・アンケート
コース終了	

石川 2015年11月



富山 2015年6月



大阪 2016年2月



東京 2016年3月



防ぎうる心停止から子どもたちを守る



日本小児科学会 小児診療初期対応コース

Japan Pediatric Life Support
JPLS



具合の悪い子どもたちへの
初期対応コースがいよいよ正式に始動！

開催日時：平成28年12月10日（第1回） 12月11日（第2回）
（予定）平成29年 2月4日（第3回） 2月5日（第4回）
9:00～16:30 <1日完結コース>

開催場所：東京近郊、大阪近郊

対象：小児科専門医取得を目指す知識と技術を持った医師

受講生募集、インストラクター養成など
詳細については、日本小児科学会HPに順次掲載予定

平成28年度より正規コースが
開始される

徐々に開催数を増やしていき、
地域特性に合ったコースとなる
よう進めていく

最終的に、わが国における小児
医療の品質向上を目指している



【まとめ】



- わが国の小児診療初期対応コースの開発を行った
- 2015年度、4回の α ・ β 版を通して、改良を行った
- 今後も学会員からの要望を参考にさらなるコースの醸成を行っていく
- 引き続き、多くのご意見、ご要望をお願いしたい

JPLSコースに関する発表は、
本日のポスターセッションでも行われます

5月13日16:00～16:30

Poster会場②(ロイトン札幌3階エメラルドルームA)

1-P-195: 井手健太郎ら

開発中JPS版救急蘇生コースについて
～コース概要と展開上の工夫(案)～

1-P-194: 西山和孝ら

日本小児科学会版小児救急蘇生コース(開発中)
～受講生アンケートのまとめ～